

# 「学校図書館の活性化をめざしてⅣ ～活動計画とパスファインダーづくり」

第2回一宮市学校図書館司書研修会 令和元年7月10日（水）

全国学校図書館協議会の学校図書館スーパーバイザーで、一宮市が指導を受けている、藤田利江先生をお迎えして、一宮子ども文化広場で学校図書館司書研修会が行われました。ご講演の内容を紹介します。

## 1 魅力ある学校図書館をめざして

これまでの藤田先生の指導の振り返りとして、魅力ある学校図書館にするため、学校図書館司書の取り組み方を確認しました。

- ① 全職員で取り組むこと
- ② 自主性を育てるための配架の仕方
- ③ 活動計画と学習を支える資料の整備
- ④ 図書館環境の整備と吟味された選書

## 2 学校図書館司書の年間活動計画づくり



1年間の活動を意図的に進めるために、年間活動計画はたいへん重要です。それを踏まえて一人一人が実際に作成しました。

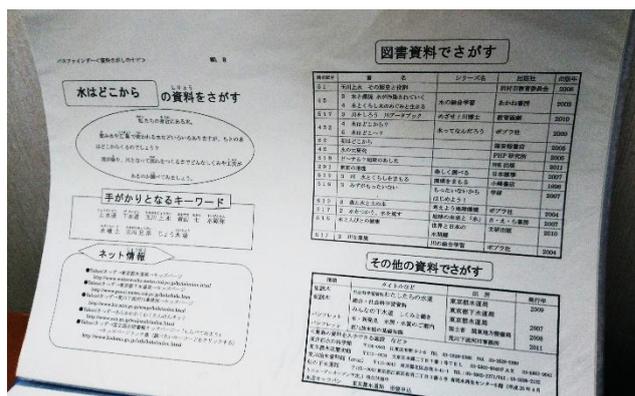
ある程度できたところで、近くの司書同士で話し合い、それぞれの実践について情報交換しました。普段は、それぞれの学校で各自で活動を考えている学校図書館司書であるだけに、熱心な情報交換が行われました。

## 3 パスファインダーについて

パスファインダーとは、「あるテーマについて、学習に活用できる資料のリスト（厚木市図書館研究会による）」です。児童生徒にとっては情報検索、情報活用のヒントや方法となり、図書館にとっては利用者への働きかけの手段となり、多様な情報の紹介の機会となります。

パスファインダーに取り上げる内容としては、以下のような項目があります。

- ① テーマとその説明
- ② 手がかりとなるキーワード（10個程度）
- ③ 図書資料（自校にある図書の一覧）
- ④ 新聞記事やファイル、雑誌、パンフレットなどの情報
- ⑤ WEBサイトの紹介
- ⑥ AV資料の紹介
- ⑦ 作成日、作成者



## 4 パスファインダーづくりのワークショップ



作り方を確認した後、子ども文化広場の管内にある図書館に実際に出かけて、パスファインダーづくりを行いました。司書の皆さんは、思い通りのテーマを決めて、本を探し、キーワードを探していました。何冊も本を手にとって、熱心にパスファインダーづくりに取り組んでいました。ワークショップを通して、パスファインダーづくりの方法を体験していただくことができました。

## 5 今後の課題

今回の研修で学んだパスファインダーをはじめ、図書館の学習資料は、同様の形式で各学校に備えられることで、より効果的になります。そうした環境整備を進めることが課題であると認識を新たにしました。